

労務理論学会第4回大会記録

労務理論学会第4回大会は、「労働市場の流動化と労務管理」を統一論題とする次のような大会プログラムで、1994年5月20日(金)・21日(土)の2日間にわたり関西大学で開催された。なお、大会参加者は94名、懇親会参加者は70名であった。

労務理論学会 第4回全国大会プログラム 〈統一論題「労働市場の流動化と労務管理」〉

第1日 5月20日(金)

開 会 挨拶 9:50 会長 奈良産業大学 海道 進

研 究 報 告 10:00~12:00 (報告45分・質疑10分)
会場 (100周年記念会館ホール)
司会 札幌大学 平尾 武久

「フレキシビリティ」と労働市場 京都経済短期大学 井上秀次郎

情報処理労働にみる「労働のフレキシビリティ」
の形成と展開 中央大学 池上 一志

———— (昼食・休憩 12:00~13:00) ————

研 究 報 告 13:00~15:00 (報告45分・質疑10分)
会場 (100周年記念会館ホール)
司会 法政大学 嶺 学

熟練・技能の現代的特質と継承問題
——鉄鋼業を中心にして—— 名古屋学院大学 十名 直喜

イギリス労務管理・労使関係の
Japanization? Individualisation?
——賃金管理を中心に—— 桃山学院大学 黒田 兼一

————— (休憩 15:00~15:10) —————

〈特別講演〉 15:10~16:10 会場 (100周年記念会館ホール)

ドイツにおける労働時間の新しい傾向と
労働の弾力化

元ベルリン経済大学教授
エッケハルト・ザクセ

————— (休憩 16:10~16:20) —————

会 員 総 会 16:20~17:50 会場 (100周年記念会館ホール)

懇 親 会 18:00~20:00 会場 (100周年記念会館ホール)

第2日 5月21日(土)

研 究 報 告 10:00~12:00(報告45分・質疑10分)

会場 (100周年記念会館ホール)

司会 立命館大学 浪江 巖

雇用流動化・「年功賃金」動揺をめぐる検討課題

札幌大学 鈴木 良始

日本的二重労働市場と労働時間構造の二極化

関西大学 森岡 孝二

————— (昼食・休憩 12:00~13:00) —————

シンポジウム 13:00~16:00 会場 (100周年記念会館ホール)

「労働市場の流動化と労務管理」

司会 同志社大学 島 弘

閉 会 挨拶 16:00